

平成27年度 東北地方整備局 総合防災訓練

企画部防災課

「防災の日」の9月1日、東北地方整備局では、関係機関と連携し震災発生直後の被災状況の迅速かつ的確な伝達及び情報共有などの初動対応強化の目的で、総合防災訓練を実施しました。

本訓練は、9時40分岩手県沖を震源とする地震（管内最大震度6強）が発生し、太平洋沿岸北部地域で最大級の津波が発生したと想定した訓練であり、災害対策本部及び支部を立ち上げ、大型モニタを利用した情報共有、関係機関相互のリエゾン派遣、重点事務所とのTV会議、市長と整備局長との衛星通信回線を利用した意見交換等を行いました。

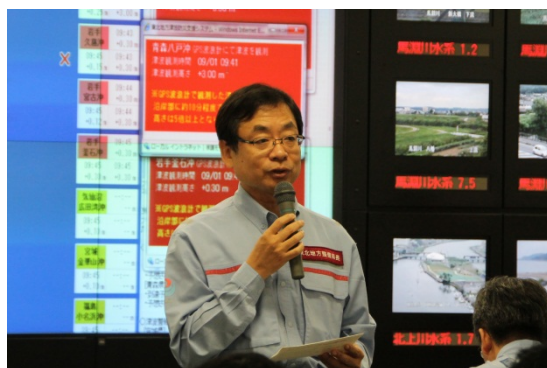
また、災害協定に基づく業団体や防災エキスパート出動要請訓練も実施しました。

なお、太平洋側沿岸での訓練は東日本大震災後はじめてとなりました。

1. 初動体制確立・初動指示

災害対策本部設置は、発災直後に職員が災害対策室に参集し、川瀧局長からの本部長指令第1号の伝達がありました。

総合防災情報システムへの災害対策体制入力、参集者確認・家族安否確認、庁舎・宿舍点検、各所管施設点検等を実施するほか、災害対策ヘリコプタ「みちのく号」の緊急発進指示を行っております。



本部長指令を発する川瀧局長

本部長指令 第1号

- I 震災対応にあたり整備局全職員は、速やかに情報収集し、1時間を目途に報告を行うこと。
 - 1 職員の安否・家族の安否を確認すること。
 - 2 庁舎、宿舍、情報通信設備、電源設備の状況を確認すること。
 - 3 管内の所管設備の状況を確認すること。
 - 4 みちのく号にて情報収集を行うこと。
- II 必要な自治体に対しては、躊躇せずにリエゾンを派遣すること。
- III 情報発信の体制強化として、広報担当に加え、取材担当官を特定すること。
- IV 各自、対応記録を時刻を付けて記録すること。

2. 津波来襲情報伝達訓練

津波来襲対訓練として、津波防災支援システムにより、管内の地震発生状況及びGPS波浪計による津波第1波観測情報を伝達したほか、今回初めて道路津波警報板システム訓練として、大津波警報発令後の津波

浸水区域へのドライバーの進入を規制するため、文字表示「大津波警報発令+ここから通行止」及び赤色灯の点滅、サイレン音による警告を遠隔操作で制御した状況を大型モニタに表示させ、災害対策本部内における情報共有を図る訓練を実施しました。



大型モニタに表示された津波警報板(左)と津波防災支援システム(右)

3. 映像共有訓練

関係機関との情報交換として、緊急発進した災害対策ヘリコプター「みちのく号」をはじめ、東北方面総監部、東北管区警察局、第二管区海上保安本部所属の各ヘリコプター(警察局及び海上保安本部は、録画映像等)から送られてくる映像を受信し、本部災害対策室大型モニタに映し出すとともに各関係機関へみちのく号映像を配信する情報交換訓練を行いました。

また、搭乗員から被災想定場所の飛行上空からのアナウンス訓練を実施しました。



ヘリ映像表示の真中は陸上自衛隊ヘリ映像

4. 自治体支援(リエゾン派遣など)

八戸市と宮古市にそれぞれリエゾンを派遣し、両市役所と災害対策本部間で衛星通信回線(Ku-Sat)を用いたテレビ会議を実

施し、八戸市小林市長、宮古市山本市長と川瀧局長が直接、被害状況報告や支援要請などの意見交換を行いました。



八戸市小林市長とのTV会議状況



宮古市山本市長とのTV会議状況

5. 関係機関との連携

災害協定に基づき、関係機関及び業団体の皆様がりエゾン等として到着し、各室との情報伝達訓練を実施しました。



※機関名及び写真は左上⇒右上⇒左下⇒右下の順
○陸上自衛隊、東北管区警察局、日本建設業連合会、東北建設業協会連合会、日本道路建設業協会、全国特定法面保護協会、防災エキスパートの皆様



災害対策本部各室の情報収集と各協定支部との情報伝達・連絡調整状況

6. 緊急ルート確保

本部担当室と重点支部は、緊急ルートを確保するため地震・津波被災想定箇所を基に道路啓開、航路啓開、緊急排水計画等の策定により、図上による啓開ルートや迂回路選定の訓練を行いました。



管内図で災害対策基本法に基づく道路啓開の説明



大型モニタによる八戸湾の航路啓開の説明

7. 本部会議による報告訓練

本部各9室及び自衛隊、業団体リエゾンからの体制及び所管施設の被災状況、リエゾンや広域的なTEC-FORCE派遣、災害対策機械派遣、緊急復旧状況等を本部会議で大型モニタを利用した報告を実施しました。



総括室による30分ルールの報告



自衛隊リエゾンによる航空科部隊の活動報告



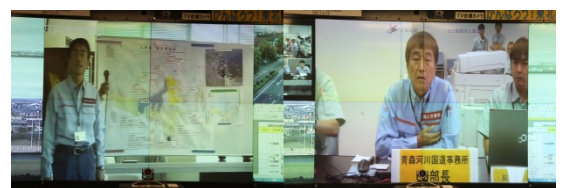
日建リエゾンによる資機材保有状況の報告

8. 通信訓練（TV会議）

青森河川国道事務所、三陸国道事務所、八戸港湾・空港整備事務所の重点3支部が、所管施設の被災状況と道路啓開、河川の応急復旧、航路啓開の復旧見通しなど、テレビ会議を通じて本部報告を行いました。



三陸国道支部とのテレビ会議



八戸港湾支部（左）と青森支部（右）とのテレビ会議

9. 記者発表訓練

本訓練での今後の応急復旧の等に関する発表を行うとともに、記者からの質疑応答の形式による記者発表訓練を行いました。



司会は椿本広報広聴対策官(左上)、前列左より、工藤港湾空港環境対策官、木我道路情報管理官、井上企画調整官、野仲河川調整官、後列は記者役(防災エキスパートの皆さん)

主な質問・回答内容

○A 新聞

質問:馬淵大堰があるが、これについては被害が無いのか。
回答:大津波警報が出たと同時に全開の操作規則があり、その規則に則り全開放している。馬淵大堰そのものの被害は確認されていない。

○B 新報

質問:全面通行止め15箇所となっているが、この15箇所ほどのくらいの啓開作業員が入っているか教えて頂きたい。
回答:22班入っており、応援作業員149名、職員22名、合計171名が啓開にあたっている。

○C 新聞

質問:今日の宮古市長とのテレビ会議の中で、市長から宮古市周辺の国道45号、106号を含めた道路啓開が要請されていたが、現在の対応状況はいかがか。
回答:45号、106号周辺において、啓開班として7箇所12班体制で啓開作業を実施しており、その内2班(13名)が市長の要請箇所にて作業中。復旧の見通しは、9/2早朝には一車線を確保したい。

質問:フェリーが寄港できるのはいつ頃見込んでいるか。
回答:港内のがれきの撤去は明日朝から開始し、明後日には完了する予定。

○D 日報

質問:救援関係について、現時点で自治体からの物資の要請及び支援の状況をわかる範囲で。
回答:現時点で情報収集中であり、まとめてお示しできる情報がない。

○E 新聞

質問:救済関係について、現時点で自治体からの物資の要請及び支援の状況をわかる範囲で。
回答:現時点で情報収集中であり、まとめてお示しできる情報がない。

等々

10. 講評

平成27年度の総合防災訓練の終了後、渥美副本部長(写真左)、津田副本部長(写真中央)、川瀧本部長(写真右)の順に講評を頂きました。



総合防災訓練の講評内容

○渥美副本部長からは

・実際の災害対応においても現地で起こっている事態に対して、どうなっているか想像力を働かせ、次に対応することが必要である。

○津田副本部長からは

・本部会議の設定や広報の発表タイミングについてのアドバイス。

○最後に川瀧本部長からは

・3.11を経験されている職員が多いと思われるので、当時さながらの緊張感のある訓練で大変良かった。
・東日本大震災の際にTV会議を自治体と直接できなかったり、記者発表をしても一般に伝わらなかったという反省があったが、訓練の中で改善されていた。
・改善する点は改善して本番に臨んで欲しい。
との講評を頂きました。

11. 総合防災訓練を振り返り

今回の訓練は、東日本大震災以降にはじめて太平洋沿岸地域の津波被害を想定して実施したもので、訓練に参加いただいた自治体や災害対応した職員は、当時を思い起こす場面もあったかもしれません。

突発的に発生する地震津波被害は初期対応が特に重要となります。その際の備えとして、訓練を継続していくことは、とても重要なことと考えております。

引き続き地域の安全に貢献できるよう努めて参りますので、皆様からの御指導、御協力をよろしく申し上げます。

新規登録状況

平成27年度の防災エキスパート新会員として、16名の方が新たに登録されました。平成27年9月末現在、登録会員数は437名となり、平常時・災害時等ご活躍いただいております。8月に登録されました新会員の皆様をご紹介します。

8月1日登録 16名

氏名	登録県	登録事務所・出張所等
阿曾 貢貴	宮城	仙台河川国道事務所、名取川出張所、七ヶ宿ダム管理所
稲邊 重広	青森	津軽ダム工事事務所、浅瀬石川ダム管理所、五所川原出張所 他
遠藤 真一	宮城	仙台河川国道事務所、名取川出張所
小山 幸男	岩手	岩手河川国道事務所、北上川ダム統合管理事務所 他
今野 悟	山形	酒田河川国道事務所、酒田国道維持出張所、鶴岡国道維持出張所 他
西條 一彦	宮城	北上川下流河川事務所、釜房ダム管理支所、北上川ダム統合管理事務所 他
齋藤 廣昭	青森、岩手 秋田	青森河川国道事務所、岩手河川国道事務所、湯沢河川国道事務所 他
佐藤 隆志	秋田	秋田河川国道事務所、湯沢河川国道事務所、能代河川国道事務所 他
白浜 浩	宮城	仙台河川国道事務所、東北国営公園事務所
鈴木 和弘	宮城	北上川下流河川事務所、鹿島台出張所
武田 節朗	宮城	北上川下流河川事務所、鹿島台出張所
文屋 泰雄	宮城	仙台河川国道事務所、仙台西国道維持出張所、安積出張所 他
堀米 新一	宮城	仙台河川国道事務所
丸山 榮	宮城	仙台河川国道事務所、釜房ダム管理所
向井 秀一	宮城	東北技術事務所、仙台東国道維持出張所
山科 勝嗣	山形	最上川ダム統合管理事務所、新庄河川事務所、月山ダム管理所 他

防災エキスパート活動報告

災害時

県別	活動内容	活動場所 (事務所・出張所名)	活動年月日	出勤数 (人)	備考
宮 城	9月11日出水	北上川下流河川事務所	平成27年 9月11日	2	
			計	2	
災害時活動			合 計	延べ 2	人・日



水防作業への指導・堤防点検等（北上川下流河川事務所管内 江合川）



排水ポンプ車による排水状況確認（洗井川）

防災エキスパート活動報告

平常時

県別	活動内容	活動場所 (事務所・出張所名)	活動年月日	出勤数 (人)	備考
青 森	水防工法訓練	青森河川国道事務所 (八戸出張所)	平成27年 6月 7日	2	
	堤防決壊時緊急対策シミュレーション	高瀬川河川事務所	平成27年 9月 8日	2	
			計	4	

県別	活動内容	活動場所 (事務所・出張所名)	活動年月日	出勤数 (人)	備考
岩 手	防災エキスパート会議	北上川ダム統合管理事務所	平成27年 6月25日	15	
	打合せ会議	北上川ダム統合管理事務所 (湯田ダム管理支所)	平成27年 6月29日	2	
	堤防決壊時緊急対策シミュレーション 中間検討会	岩手河川国道事務所	平成27年 8月 4日	4	
	総合防災訓練	岩手河川国道事務所	平成27年 9月 1日	2	
	堤防決壊時緊急対策シミュレーション	岩手河川国道事務所	平成27年 9月 8日	4	
計				27	
仙 台	北上下流重要水防箇所合同巡視	北上川下流河川事務所 (涌谷出張所)	平成27年 6月 4日	1	
		北上川下流河川事務所 (大崎出張所)	平成27年 6月 5日	1	
		北上川下流河川事務所 (鹿島台出張所)	平成27年 6月 9日 6月16日 6月22日	1 1 1	
		北上川下流河川事務所 (飯野川出張所)	平成27年 6月17日	1	
		北上川下流河川事務所 (鳴瀬出張所)	平成27年 6月18日 6月22日	1 1	
	重要水防箇所合同巡視	仙台河川国道事務所 (岩沼出張所)	平成27年 7月10日	1	
		仙台河川国道事務所 (角田出張所)	平成27年 7月17日	1	
	総合防災訓練	東北地方整備局 (災害対策本部)	平成27年 9月 1日	7	
計				17	
秋 田	重要水防箇所合同点検	秋田河川国道事務所 (子吉川出張所)	平成27年 6月10日	1	
	水防講習会	秋田河川国道事務所 (子吉川出張所)	平成27年 7月23日	2	
	堤防決壊時緊急対策シミュレーション	秋田河川国道事務所	平成27年 8月 6日 9月 8日	2 2	
	堤防決壊時緊急対策シミュレーション	能代河川国道事務所	平成27年 8月25日	1	
	総合防災訓練	秋田河川国道事務所 湯沢河川国道事務所 能代河川国道事務所	平成27年 9月 1日	1 2 1	
	洪水時の緊急対策シミュレーション	湯沢河川国道事務所	平成27年 9月 9日	2	
計				14	

県別	活動内容	活動場所 (事務所・出張所名)	活動年月日	出勤数 (人)	備考
山 形	重要水防箇所合同巡視	新庄河川事務所 (大石田、鮭川、鳥越出張所)	平成27年 6月 3日 6月 4日 6月 5日	1 1 1	
	危険箇所等合同点検パトロール	新庄河川事務所 (立谷沢川砂防出張所、 銅山川砂防出張所、 鮭川出張所)	平成27年6月19日 6月24日 6月30日	2 2 2	
	堤防決壊時緊急対策シミュレーション	山形河川国道事務所 (南陽、寒河江出張所)	平成27年 6月19日 6月30日 7月23日 8月 3日 8月27日 9月11日	2 1 1 2 2 3	
	堤防決壊時緊急対策シミュレーション	酒田河川国道事務所 (赤川出張所)	平成27年 7月13日	1	
	堤防決壊時緊急対策シミュレーション	新庄河川事務所	平成27年 8月28日 9月17日	2 2	
	PDCA連絡調整会議	山形河川国道事務所 (南陽、寒河江出張所)	平成27年 8月31日	2	
				計	27
福 島	堤防決壊時緊急対策シミュレーション	福島河川国道事務所	平成27年 7月23日	3	
			計	3	
平常時活動			合 計	延べ 90 人・日	



重要水防箇所合同巡視 (山形・6/3~6/5)



水防工法訓練 (青森・6/7)



総合防災訓練 (宮城・9/1)



堤防決壊時の緊急対策シミュレーション
成果報告会 (岩手・9/8)

防災エキスパート活動に係る連絡体制

この度、事務局の担当者が変わりましたのでご紹介します。

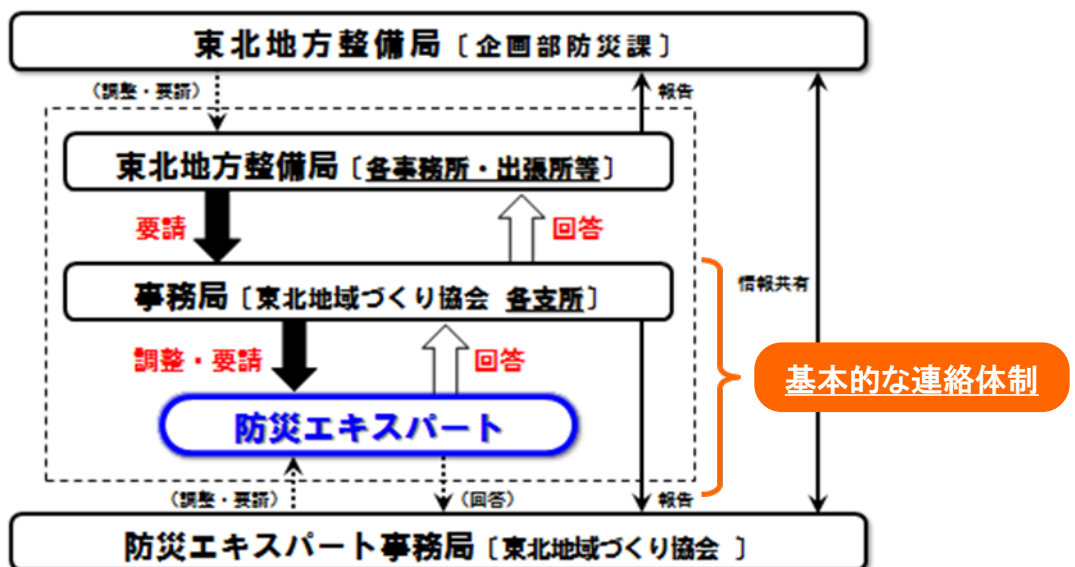
また、以前も掲載しましたが、防災エキスパート連絡体制について改めてご確認をお願いいたします。活動を行っていただくにあたり、基本的には事務局である各支所から要請し、活動後の報告も各支所へ提出いただくこととなります。

なお、活動にあたっては、可能な範囲で構いませんので、活動状況写真の記録並びにデータの提出をお願いいたします。

事務局拠点	担当者	住所／電話・FAX番号
本所	西條 一彦（技術企画部長）	〒980-0871 宮城県仙台市青葉区八幡一丁目4-16 TEL:022-268-4711 FAX:022-211-9534
青森支所	高橋 武美（支所長）	〒030-0822 青森県青森市中央四丁目12-6 TEL:017-734-7754 FAX:017-734-7755
岩手支所	小山 幸男（支所長） 加藤 武男（次長）	〒020-0114 岩手県盛岡市高松二丁目14-28 TEL:019-662-7010 FAX:019-662-7011
仙台支所	高橋 重道（支所長）	〒982-0003 宮城県仙台市太白区郡山五丁目14-13 TEL:022-247-0577 FAX:022-247-0680
秋田支所	津谷 昌彦（支所長）	〒010-0951 秋田県秋田市山王四丁目4-31 TEL:018-823-3148 FAX:018-823-3150
山形支所	大沼 三藏（支所長） 山科 勝嗣（調査役）	〒990-2339 山形県山形市成沢西四丁目2-3 TEL:023-688-8044 FAX:023-688-8068
福島支所	三浦 毅（支所長）	〒960-8153 福島県福島市黒岩字八郎内5-2 TEL:024-545-4371 FAX:024-545-4329

※ 本所事務担当〔地域事業部主任 中村裕子〕

防災エキスパート連絡体制



編集 後記

7月16日付けで東北地方防災エキスパート事務局を担当することになりました。

山内地域事業部長同様よろしくお願いいたします。

H25年9月の関東東北豪雨では関東の鬼怒川堤防が破堤、東北では吉田川や江合川で越水が発生し、鳴瀬川の支川渋井川（県管理）では堤防が破堤するなど、甚大な被害が発生しました。

北上川下流河川事務所も非常体制で全職員が情報収集や現地対応など緊迫した状況が続いたようです。防災エキスパートの方々も事務所からの要請を受け、現地で活動していただきました。本当にご苦労さまでした。

北上川下流河川事務所では、防災エキスパートの方々とは堤防の徒歩点検や重要水防箇所の合同点検など、緊急時のために日頃より情報交換を実施しています。このように、いざという時のために日頃から各事務所と防災エキスパートとの交流などを通じ、支援時に迅速に対応できるような取り組みを行っていきたいと思いますので、今後とも皆さまのご協力をお願いいたします。

なお、事務は引き続き地域事業部の中村主任が担当しますので、よろしくお願いいたします。



防災エキスパート事務局

（東北地域づくり協会 技術企画部長 西條 一彦）

TEL : 022-268-4711 / FAX : 022-211-9534

E-mail : bousai@kyokai.or.jp

